

慶應義塾大学法学部政治学科入ゼミ相談会 配布資料

2019年6月22日(土) 13:00~16:00

@慶應義塾大学日吉キャンパス

法学部政治学科ゼミナール委員会

【目次】

1. はじめに p.2
2. 各ゼミ紹介 p.3-14
 - 2.1 政治思想系列 p.3-5
 - ・大久保健晴研究会 ・田上雅徳研究会 ・堤林剣研究会 ・萩原能久研究会
 - 2.2 日本政治系列 p.5-6
 - ・小川原正道研究会 ・玉井清研究会
 - 2.3 政治・社会系列 p.6-8
 - ・麻生良文研究会 ・大山耕輔研究会 ・河野武司研究会
 - ・澤井敦研究会 ・塩原良和研究会 ・竹ノ下弘久研究会
 - 2.4 国際政治系列 p.9-11
 - ・田所昌幸研究会 ・西野純也研究会 ・細谷雄一研究会
 - ・宮岡勲研究会 ・山本信人研究会
 - 2.5 地域研究・比較政治系列 p.11-14
 - ・出岡直也研究会 ・大串敦研究会 ・粕谷祐子研究会 ・小嶋華津子研究会
 - ・杉木明子研究会 ・高橋伸夫研究会 ・錦田愛子研究会
3. 2020年度入ゼミスケジュール p.15-16
4. 全塾ゼミナール委員会より p.17-21

1. はじめに

2年生の皆様、こんにちは。法学部政治学科ゼミナール委員会です。日吉生活も1年が経ち、日吉キャンパスで学ぶのも残り1年を切りました。学業、サークル、體育會活動、アルバイトなど、何かに熱心に打ち込んでいることだろうと思います。ところで、皆様の中で、三田キャンパスでの生活のことを考えていらっしゃる方はどれくらいいるのでしょうか。我々ゼミナール委員会も3年生が主体として活動しているため、我々が偉そうなことを語ることはできません。しかし、1つだけ間違いなく言えることがあります。それは、三田キャンパスでの生活は「自分で自分の方向性を決める」ことの連続です。そのいい例が就職活動です。誰も何も、皆様の進路を決めてくれません。OB・OG訪問の連絡をするのも自分、インターンシップに申し込むのも自分、業界研究をするのも自分、最終的にどここの会社に行くか決めるのも自分です。誰かに任せっぱなしにするのではなく、自分で自分の将来を決めることが、三田キャンパスでの生活の醍醐味です。そしてそのスタートが入ゼミです。入ゼミまでの流れも、この就職活動とかなり類似しているところがあります。自ら相談会や説明会に赴き、自らオープンキャンパスに参加し、自分で各系列の特徴を調べて、自分が受験するゼミを自分で最終的に選ぶのです。この相談会に参加した皆様は、そのはじめのステップを踏んでいます。我々政治学科ゼミナール委員会は、皆様が今日踏み出した勇気ある一步のその先にある道を拓くサポートを全力でしてまいります。

ここで軽く、ゼミというものについて説明します。研究会（ゼミ）とは、皆様が日吉の2年間で学んだことを基礎として、より専門的な研究をする活動の場です。ゼミには1人の専任教員がいて、その下で少人数の学生がその教授の専門領域について研究します。また、ゼミは勉強するだけではなく、合宿やソフトボール大会などを通じて、ゼミ員同士の一生ものとも言える横の繋がりやOB・OGとの縦の繋がりを構築することができます。

大学に入る前の説明会で皆様も聞いたことがあると思いますが、慶應義塾大学法学部政治学科に所属されている研究者（＝専任教員）は全員、それぞれの研究分野で日本の中でも特に素晴らしい研究実績を誇っている方です。政治学科に所属する専任教員の数も日本でトップです。これはすなわち、皆様の興味のあることをカバーできる専任教員は必ずこの大学にいらっしゃることを意味しています。もし政治以外に興味があっても、この冊子の最後の方に書いてあるとおり、他の学部のゼミに入ることも可能です。

まだどのゼミに入ろうか迷っている人、大丈夫です。そのような人のために、今日のような相談会があるのです。また、ほとんど志望するゼミが決まっているという人も、ぜひ他のゼミの相談会にも参加してみてください。新たな発見があるかもしれません。皆様が半年後、自分の研究したいことを見つけ、第1志望のゼミに無事合格できることを、我々政治学科ゼミナール委員会一同、心から祈っています。

法学部政治学科ゼミナール委員会
入ゼミ担当責任者 佐藤優人

2 各ゼミ紹介

2.1 政治思想系列

大久保健晴研究会

【学習内容】

大久保健晴研究会は、東洋政治思想・比較政治思想を専攻するゼミです。

具体的には、私たちが生きている東アジア世界がこれまでどのように形作られ、今、どこに向かおうとしているのか、西洋との文化接触を視野に入れながら、研究しています。

通常は木曜日3限に3年、4限に4年生のゼミをそれぞれ行なっています。毎週文献を輪読しゼミ生同士でのディベートを行います。わからない点があっても大久保先生のわかりやすい解説で考えをより深めることができます。

【ゼミの雰囲気】

ゼミ生同士も仲が良く、アットホームな雰囲気です。またソフトボール大会や懇親会などのイベントもあります。夏に行われるゼミ合宿は同期だけでなく先輩方とも意見交換ができ、仲良くなれる貴重な場となっています。遊びと学習のメリハリのあるゼミです。

充実したゼミ生活を送りたい方は是非、大久保ゼミへ！

【人数】

4年生 21名

3年生 21名

田上雅徳研究会

【学習内容】

こんにちは、田上雅徳研究会です！田上ゼミでは、主に中世・近代におけるキリスト教世界を中心として、西欧政治思想について研究しています。水曜の4・5限を3コマに分け、前半の2コマで3年生、最後の1コマで4年生のゼミを行います。3年生は、研究テーマに関する書籍についてのレポート作成とそれについてのゼミ内での討論、4年生は卒論指導という内容です。基礎的文献を基に授業を行うので、知識についての心配は不要です。また、自分の興味のある分野について研究でき、自由度も高いです。先生は基本的な論文の書き方から鋭い考察まで、様々なアドバイスを下さるのでとても身になる授業です！

【ゼミの雰囲気】

ユーモア溢れる先生と一緒に和やかに活動しています。先生と飲みに行くこともしばしば…。体育会生や留学に行く人など多様なゼミ生が所属しており、ゼミ生の仲も良いです！

【人数】

4年生 20人、3年生 13人（うち経済学部1人）

堤林剣研究会

【学習内容】

堤林剣研究会は政治思想系列のゼミです。活動内容は主に文献講読とディスカッションで、扱う文献はゼミ生に委ねられています。3年生は水曜4限に活動しています。(3年生と4年生は別のコマで活動する予定です。)政治とは?正義とは?教育とは?など様々なテーマについて活発に議論を行っており、政治思想に関する知識はもちろんのこと、文献を読み込む力や議論する力を鍛えることができます。また、3年次に三田論を、4年次には卒論を執筆します。

【ゼミの雰囲気】

本ゼミの最大の特徴は民主制を採用していることです。ゼミに関することは文献から議論の進め方、合宿に関することまでゼミ員全員で議論して決定します。そのため自由度が高く、主体的なゼミ運営が行われています。学生生活後半を充実させたいあなた、自分の興味のある思想分野を突き詰めたいあなた、ぜひ堤林ゼミへ!

【人数】

3年16期:22名

※来年度の募集人数も20名前後となる予定です。

【HPのURL】

<https://tsutsumin.wixsite.com/tsutsu-semi>

萩原能久研究会

【学習内容】

萩原能久研究会は、毎週水曜日の4,5限に3,4年生合同でゼミを行っています!サブゼミはありません。研究内容は政治哲学・現代政治理論です。ゼミでは指定された文献を各自が事前に読み、5,6名で構成される班が作成したレジュメをもとに、ディベートを行います。レジュメの作成や、ディベート形式議論により知識が増すことはもちろん、思考力や発言力も身につきます。

【ゼミの雰囲気】

3,4年生合同でゼミを行うため、学年関係なくゼミ員がとても仲良く賑やかな雰囲気のゼミです!ソフトボール大会には教授も選手として参加していただき、その後には教授の邸宅にてバーベキューを行います!また夏合宿では5泊6日で沖縄に行き、平和研究も行います。さらに、教授がダイビングのインストラクター資格を持っているため、その講習も受けられます!入ゼミについて、一次募集の結果に関係なく毎年必ず二次募集を行うため、多様な人材が所属しています。

【人数】

3年26期:25名 4年25期:25名

※教授の定年に伴い、今年度の選考(27期)が最後の選考となります。

【HP・Twitter】

HP : <http://www.clb.law.mita.keio.ac.jp/hagisemi/index.html>

Twitter : @hagiwaraseminar

2.2 日本政治系列

小川原正道研究会

【学習内容】

小川原研究会は、幕末から戦前期を中心とした日本政治思想史、日本政治運動史をテーマにして研究しています！ゼミでの活動を通じて、論文の書き方、情報収集・分析手段の取得はもちろん、ディスカッションやディベート力を身に付けることができます。また、発表者にはコメンテーターと呼ぶ質問者もつけて、より深く文献を理解出来るようにしています。

【ゼミの雰囲気】

本ゼミは、火曜日3限に講義、木曜日にサブゼミとして文献購読を行っています！和気あいあい、かつほのぼのとした雰囲気の中で学び、小川原先生からアドバイスや解説を頂いています！

【人数】

4年生 12人

3年生 17人

玉井清研究会

【学習内容】

近代日本政治を専攻領域とし、社会、文化、経済状況や新聞、雑誌を中心としたジャーナリズムなどを含め多角的研究を行うゼミです。

毎週水曜日4・5限に本ゼミ、同曜日6限にサブゼミを行なっています。

4・5限の本ゼミでは、近代日本政治の基礎文献を用い、各回の担当者の発表や先生による解説を通して近代日本政治についての知識を獲得していきます。また、全員で丁寧に輪読していくため、日本史の知識が無い方でも問題なくゼミに参加できます。6限のサブゼミは3年生全員で運営するもので、三田祭に出展する共同論文の作成のための活動を行います。ここでは、内外の事件や出来事を一つピックアップし、同時代の新聞や雑誌がどのように報じたか調査し、マスメディアの報道内容を分析し共同論文を執筆します。

【ゼミの雰囲気】

ゼミ生は意欲的であり、真剣にゼミに参加しています。また皆仲がよく、授業では互いに協力し、授業外ではアットホームな雰囲気です。

【人数】

4年生 12人（経済学部1名）3年生 12人（文学部1名）

他学部、留学する人の受け入れは可能です。

HP: <http://tamaiseminar.main.jp/>

Twitter: @tamaikiyoshi

2.3 政治・社会系列

麻生良文研究会

【学習内容】

麻生良文研究会では、毎週水曜日の4.5限に3.4年生合同で研究を行っています。麻生ゼミは法学部政治学科の中でも唯一経済学を学ぶ研究会です。特に、経済学の中でも公共経済学について学んでいます。

ゼミでは、担当者がパワーポイントを用いて発表を行いますので、社会人になるための準備にもってこいです。

また、Rという統計ソフトを用いて計量経済学の実習を伴う講義をゼミ中に実施しています。

夏休みに2泊3日でゼミ合宿を行っており、三田論の作成は行なっていません。

【ゼミの雰囲気】

アットホームな雰囲気で、みんなとても仲が良いです。

誕生日をお祝いしたり、みんなでゼミ後に飲みに行ったりすることもあります！麻生先生もよく飲まれ、普段は聞けない裏話が聞けちゃうことがあるかも！？政治学科に入ったけど経済学のほうが好き・興味があるという方はもちろん、それ以外も楽しみたいという方は是非麻生ゼミへ！

【人数】

3年17期 15名

4年16期 15名

留学予定者も受け入れ可能です。

大山耕輔研究会

【学習内容】

大山研究会は、行政学を専攻しているゼミです。研究対象は、行政学に関係する分野（行政、公共政策等）であれば、幅広く選択できます。そのため、柔軟性が高いゼミであるといえます。また、他の学問分野との有機的なつながりを見だしやすいのも魅力的な点です。3年生は、水曜4限に本ゼミ・5限にサブゼミを行なっています。本ゼミでは、行政学に関する文献を批判的な視点で分析・議論します。本ゼミの最後には、大山先生からご意見をいただきます。サブゼミでは、三田祭論文作成のための話し合いを行なっています。

【ゼミの雰囲気】

ゼミ生は、「よく学び、よく遊ぶ」をモットーに、様々なゼミ活動を楽しんでいます。また、ゼミ活動以外で、体育会・サークル・趣味・資格試験など様々なことを両立しています。明

るく穏やかな人が多いので、和やかな雰囲気ゼミとなっています。

【人数】

4年生(18期)12名

3年生(19期)18名

【情報】

Twitter: 「2020年度大山研究会 入ゼミアカウント」@oyama_semi_19

HP: 2019年度(19期) 大山耕輔研究会公式HP <https://oyamaseminar2019.jimdofree.com>

河野武司研究会

【学習内容】

河野武司研究会では毎週水曜日の4限に3年生、5限に4年生の本ゼミがあります。研究テーマは「現代の代議制民主主義における機能不全とその克服」で、より具体的には経済的格差の拡大を放置する状態は民主的と言えるのかといった問題やインターネットは民主主義の味方か敵かといった問題に関して、関連する文献の輪読をもとに毎時間活発な議論をしています。

【ゼミの雰囲気】

河野ゼミでは本ゼミは週一回ですが、他大学とのディベートや三田祭での研究発表に向けて、学生が自主的に取り組むサブゼミも貴重な学習の場として設けられています。所属する学生は政治学科だけではなく、法律学科や他学部の学生も受け入れています。

【人数】

4年生 21名 3年生 25名

澤井敦研究会

【学習内容】

本研究会が専門とするのは現代社会理論ですが、実際は社会学全般を取り扱います。現在、三年生は火曜4限に本ゼミ、5限にサブゼミを行い、四年生は5限の本ゼミのみ行います。授業は、社会学知識の習得を目的とした共同研究と、個人の卒業論文に向けての個人研究を行い、三田祭論文も作成します。社会学は範囲が広いので研究テーマの自由度も高く、自分の興味・関心のあるテーマを研究できます！

【ゼミの雰囲気】

生徒各々が自主性を持って議論を進めていきますが、澤井先生が常にサポートして下さいます。先生はとても優しく穏やかな先生なので、アットホームな雰囲気です。社会学を楽しく学習できます。

【人数】

3年生 18人 4年生 18人 合計 36人

塩原良和研究会

【学習内容】

こんにちは！塩原良和研究会です。私たちは国際社会学・社会変動論を研究しています。授業は月曜日の 3、4 限で、課題文献のディスカッション・グループ発表などを行います。それに加えてゼミ生は各々が研究テーマを決め、個人研究論文を執筆します。個人研究のテーマは国際社会学/社会変動論に関連していればどんなものでも構いません！

なんといっても塩原ゼミでは川崎や鶴見地区にてフィールドワークを行っています！そこでは外国につながる中高生や生活保護を受給している家庭の子など、様々な背景を持つ人々との交流をします。

【ゼミの雰囲気】

塩原ゼミの雰囲気はとても明るく、ゼミ生が個性的で多様性に満ちています。フィールドワークなどに参加することで、先輩後輩関係なく、仲を深めることができます。毎年留学に行くゼミ生も多く、交換留学や私費留学を考えている方でも、ぜひ興味を持ったらブースまで訪れてください！

【人数】

3 年生、21 人 4 年生 27 人(うち総合政策学部、法学部法律学科それぞれ一名)

HP : <https://shiobaraseminar.jimdo.com/>

Twitter : @Shio_Semi

竹ノ下弘久研究会

【学習内容】

竹ノ下ゼミでは、主に社会階層論や格差・不平等の問題を研究しています。扱う内容も、教育、経済市場、地域社会のように幅広いテーマで社会学を学んでいます。また、竹ノ下ゼミでは、その研究方法としてフィールドワークだけでなく統計分析も用いているので、計量的なデータを分析できる力を伸ばせるのが大きな特徴です。授業では、事前に課題文献を読んできた上で、先生の解説を交えながら輪読をし、最後にグループディスカッションをする形です。また今年も、家族、教育、労働市場、地域社会という 4 つのテーマでグループ分けをし、グループ発表として三田祭で展示します。ゼミは毎週月曜 4.5 限に行います。

【ゼミの雰囲気】

堅苦しい雰囲気は一切ないです。竹ノ下先生も“たけぼん”と呼ばれるほど距離感が近く親しみやすい先生で、とてもなごやかでアットホームな雰囲気のゼミです。また、例年、ソフトボール大会参加、ゼミ夏合宿、三田祭への出展も行っていきます。

【人数】

4 年生 20 人(留学中 2 人)3 年生 23 人(留学中 1 人)(他、院生と留学生が 4 人ほど)

【連絡先】

Twitter @takeponzemi

2.4 国際政治系列

田所昌幸研究会

【学習内容】

田所昌幸研究会は、重厚で深みのある知性を涵養するために、主として歴史から国際政治にアプローチしています。3年生の間は、毎週20世紀の国際政治史について、各々の興味関心に応じたトピックから発表し、討議します。加えて英字誌の社説を輪読して時事的な話題についても問題点の整理を行っています。4年生になると、ゼミ生各自がテーマを選び報告し、それに基づいて卒論を執筆する形で運営されます。

【ゼミの雰囲気】

田所先生の学識の幅広さゆえに、ゼミ生の知的興味関心もキャラクターも多様です。またゼミ生の自主性を重んじる風土が根付いており、週一回のゼミに責任を持って参加しさえすれば、体育会・留学など課外活動との両立ができることも特徴です。

【人数】

4年生 11人(商学部1人)・3年生 13人(法律学科1人、商学部1人)で毎週水曜日4.5限に活動しています。

西野純也研究会

【学習内容】

国際政治全般に関する書籍、特に東アジアや関係各国の外交・安全保障に関する文献をメインに扱います。

ゼミは毎週水曜日の4・5限に行われ、サブゼミはありません。毎週、指定された文献を読み、担当者らによる要約発表後、内容に基づき論点を設定し、討論を行います。討論は、5～6名に分かれて行い、その成果をグループごとに発表、それに対して他のグループが批判や疑問を投げかけることで、討論をさらに深めます。通常のゼミ以外にもシンポジウムやセミナーへの参加や韓国大使館訪問など、実際に足を運び専門家の方々と意見交換する機会が設けられ、深い学びが行われています。

【ゼミの雰囲気】

西野研究会の良さは、何と言ってもゼミ生の仲の良さです！個性豊かなメンバーで、和気あいあいとゼミを進めています！課題の量は少なくありませんが、皆で乗り越えることができます！西野先生の誕生日には、みんなでケーキを買ってサプライズお祝いをしました！！GWにも集まって遊んだり企画も多いので、真面目に勉強しつつ、でも遊ぶときは遊ぶ！”メリハリ”のある研究会を探している方はぜひ！

【人数】

3年 男子11人 女子12人

4年 男子9人 女子13人

細谷雄一研究会

【学習内容】

細谷ゼミの主な研究対象は西洋外交史です。三年生は水曜 4、5 限、四年生は 3 限で毎週一冊テキストを読み、内容の報告者、議題を提供する討論者の発表の後、グループディスカッション、全体ディスカッションを行います。サブゼミは特に行っておりません。3 年生の春学期は学問方法論、歴史学入門、ヨーロッパ史入門など基本的な文献を購読し、根源的なテーマに取り組んでいきます。秋学期からは、より具体的な内容を取り扱うことで西洋外交史に関する専門的な見解を深め、4 年次にはそれらを基軸として多様な現代国際政治の問題を扱います。歴史を学ぶだけでなく、そこから現代の多様な国際政治を考察するというのもこの研究会の 1 つのテーマとなっています。ゼミでは毎回様々な視点から問題が提起され、先生による丁寧な解説に加えて多様なバックグラウンドを持つゼミ生が議論を行うため、とても学びの多い刺激的な時間となっています。

【ゼミの雰囲気】

落ち着いていて明るく、ゼミ生には優秀な人が多いため、学生同士でお互いに刺激し合い成長できる環境となっています。

【ゼミ生の構成】

3 年生:29 名 4 年生:31 名(8 名が留学中)他学部受け入れ可

HP <http://keiohosoyazemi.wixsite.com/http>

Twitter @hosoya2020

問い合わせ hosoya.seminar2020@gmail.com

宮岡勲研究会

【学習内容】

本研究会は、国際政治理論の観点から安全保障研究に取り組んでいます。特定の地域・国・理論といった限定はありません。3 年生の場合、課題文献をもとに学生で議論をし、宮岡先生からの解説も受けます。一方、サブゼミでは、クリティカル・シンキングの演習を行い、批判的かつ論理的な思考力を身につけます。4 年生は、個別に卒業論文に取り組みます。伝統的な国家の軍事安全保障のみならず、非国家的アクターや経済・環境・資源などの非軍事的側面まで含めた広義の安全保障の範囲から研究テーマを自由に選択することができます。

【ゼミの雰囲気】

本研究会では、会員数が各学年 10 名程度ということもあって同期の一体感が強く、協力関係を築きながら日々和気あいあいとゼミ活動に取り組んでいます。また、合宿や同窓会合等を通して、教員や上・下級生、OBOG との交流が盛んなことも特徴的です。

【人数】

9 期生 (4 年生) : 12 人 (男 5・女 7、法律学科 1 人と商学部 1 人を含む)

10 期生 (3 年生) : 12 人 (男 5・女 7、法律学科 1 人を含む)

【その他】

ホームページ：<https://miyaokazemi.jimdo.com/>

ツイッター：[@miyaokakeio](https://twitter.com/miyaokakeio)

山本信人研究会

【学習内容】

山本信人研究会では、毎週火曜日の4限と5限に3、4年生合同で本ゼミを行なっています。サブゼミはありません。テーマとして、国際関係論・東南アジアを主とする個人研究のかたちでゼミを行っています。ゼミでは、それぞれが個人研究についてのペーパーを作成し、ゼミの時間にそのペーパーについて先生や他のゼミ生から意見をいただき、議論をします。個人研究のペーパーについて議論するほか、全員が共通の文献を読んで議論したり、自分の研究テーマに関連する文献の書評を作成したりします。

【ゼミの雰囲気】

少人数のゼミのためゼミ生同士の仲は良く、ゼミではゼミ生個々の研究内容も交えた議論を楽しんでいるほか、自分の発言や疑問に対してフィードバックすることで刺激を受けることができるのが魅力の一つです。私たちの山本先生は研究に行き詰った時に助けてくださったり、個人的な相談にも乗ってくださったりと、ゼミ内外を問わずたくさんのお話を話す機会があります。他学部生は受け入れません。

【人数】

4年生5名（うちの3名が留学中）

3年生3名

2.5 地域研究・比較政治系列

出岡直也研究会

【学習内容】

出岡直也研究会はラテンアメリカ地域研究会を行うゼミです。毎週水曜日の3、4限に活動しています。研究対象としては、メキシコ、中米、カリブ海、南米を含む「中南米」における政治を中心としますが、社会問題・文化等についても研究することができます。普段のゼミでは、発表形式が多く、ラテンアメリカに関する興味のある分野の論文を持ち寄り、各自発表しています。多岐に渡るテーマで発表していますが、出岡先生はどの分野にも詳しく毎回解説やアドバイスをくださり、とてもためになります！卒業論文のテーマもラテンアメリカに関するものであれば、自由です。

【ゼミの雰囲気】

毎週のゼミでは、各発表者から学び、各自その後意見を述べるなどして、気軽に、楽しくラテンアメリカの地域研究を進めています。所属する学生は政治学科からだけでなく、法律学科や経済学部の学生もいます。

【人数】

各学年、基本的には10人の少人数の構成です。

3年生が7人 4年生が10人

大串敦研究会

【学習内容】

こんにちは。みなさんは、「ロシア」と聞いてどんなイメージを持ちますか？多くの方は怖い、情報がなく分からない、といったイメージをお持ちだと思います。大串敦研究会では、このような謎に満ちた地域である、ロシアを中心としたスラヴユーラシア地域の政治や社会について研究しています。中には、中国やドイツといった他の国をロシアと比較しているゼミ生もいて、研究テーマもロシアにとらわれず、比較的 자유です。

【ゼミの雰囲気】

ゼミは水曜日の3限、4限に行われており、発表者を中心に、分かりやすい文献の購読によって勉強が進むため、事前知識がない方も心配はいりません。もちろんロシア語ができなくても全く問題はありません！大串先生は私たちに丁寧なフィードバックをくださり、とても優しい先生です。少人数であるため、全員でコミュニケーションが取りやすいアットホームな雰囲気のゼミです。ロシアのことだけでなく、比較政治学や地域研究の理論を学ぶこともできるため、ロシアに興味がある方も、そうでなくとも比較政治学の枠組みに興味がある方もお待ちしております！

【ゼミの人数】

4年生11人（1名留学中）、3年生16名（法律学科2人、経済学部1人を含む）

粕谷祐子研究会

【学習内容】

粕谷祐子研究会は、発展途上国比較政治学を研究対象としており、毎週水曜日の4、5限に本ゼミ、3or6限にサブゼミがあります。春学期は既存論文の評価やリサーチデザインの作成を行い、それらを踏まえたディスカッションを行います。秋学期はゼミ生が各自で選んだトピックに関する研究とその報告及びレポートの作成を行います。サブゼミでは三田論に向けて、興味のあるテーマの近い人でグループを作り、論文の準備を進めていきます。自分が興味を持った国、地域について研究できる（発展途上国でなくても可）ので、すでにやりたい国が決まっている人も、まだ決まっていない人も向いていると思います。ロジカルライティングや論点設計等の今後、就活という枠組みを超えて社会人として必要となるようなスキルを徹底的に鍛えられる場であることも大きな魅力です。去年は留学生の受け入れを許可していませんでしたが、今年から通常採用に戻り、留学生の受け入れも可です。

【ゼミの雰囲気】

学年問わず仲が良く、あたたかな雰囲気ですが、勉強に関しては一人ひとり真剣に取り組ん

でいます。また様々なバックグラウンドと個性を持ったメンバーが集まっており、刺激の多い環境でもあります。

【人数】

3年11期：21名 4年10期：20名

小嶋華津子研究会

【学習内容】

小嶋華津子研究会は現代中国の政治・外交を主に扱う研究会です。火曜の3限に3年生のゼミ、4限に4年生のゼミを行います。3年生のゼミでは文献やメディア報道に目を通した上で先生や大学院生と議論をする他、学んだことに関するテーマでディベートも行います。4年生は個人で卒論を勧め、中間発表の際には3年生も4年生のゼミに出席します。

【ゼミの雰囲気】

授業は和気あいあいとした雰囲気で行われ、先生は物腰柔らかでありながら、的確でわかりやすいコメントで議論を進めてくれます。三田論の有無や卒論テーマについては生徒に任せてくれるので、自由度の高い研究会でもあります。

【人数】

現在4年生22人、3年生19人が所属しています。

Twitter: https://twitter.com/KOJIMAZEMI_KEIO

杉木明子研究会

【学習内容】

杉木明子研究会では毎週火曜日の3,4限に本ゼミ、5限にサブゼミを行っています！研究内容は現代アフリカ政治や国際関係論です。本ゼミでは開発援助やテロ紛争などのアフリカ諸問題について、担当者が作成したレジュメをもとに発表、そしてグループディスカッションを行います。サブゼミではアフリカに関する最新ニュースの共有や本の読み合わせを行います。

三田祭では各自で決めたテーマに沿って、共同論文を発表する予定です。また秋学期には他大学と合同ゼミを開催します。

初めてアフリカに触れる方でも、歴史から現代アフリカまで幅広く丁寧に教えてくれるので、考えを深めることができます。

【ゼミの雰囲気】

3限は3年のみ、4,5限は3,4年合同でゼミを行います。アフリカ地域という珍しい研究会だけあり、個性豊かなゼミ員ばかりです！また他では聞くことのできない、先生の衝撃的なアフリカ現地話はゼミの目玉です！アフリカに少しでも興味のある方、平和構築や難民問題に興味のある方、ぜひお待ちしております！！

【人数】

3年2期：16名 4年1期：16名（内留学3名）

高橋伸夫研究会

【学習内容】

「中国的なるもの」はなんだろうか。我々、高橋伸夫研究会では政治・宗教・民族・歴史など様々な方面から、中国という国家に対して幅広く分析し、最も相応しい答えを探そうとしています。ゼミの進め方としては、本ゼミは水曜3限（4年生の場合は同日4限）に一コマ授業がありサブゼミはありません。授業では高橋先生が指定なさった文献をゼミ生で割り振り、毎週担当者が2枚ほどのレジュメを作成し発表します。それについてゼミ生が議論した上で、高橋先生からフィードバックを頂きます。

【ゼミの雰囲気】

2019年現在、4年生の13人と3年生の6人で構成されており、他ゼミに比べると少人数です。特に、3年生は留学生の数が日本人より多く（内約：日本人2名、中国人3名、韓国人1名）他学部学生の受け入れも可能ですし、途中の留学も認めていますので、グローバルで多様性のある研究会だと言えます。また、三田祭期間中は中国研修を行う予定ですが、その施行如何は毎年異なります（去年は西南政法大学、今年は具体的な目的地は未定）。夏合宿は三田祭の予定の如何によって中国研修で発表する内容か、あるいは三田祭の論文を準備することになります。

【人数】

4年生13人 3年生6人

錦田愛子研究会

【学習内容】

こんにちは！錦田研究会です。この研究会は「移民／難民の政治学」をテーマに、移動当事者やその受入れ国について勉強しています。木曜日の4限に活動中です。ゼミでは関連文献の購読や、各自の問題意識に基づいて調べたことを発表しています。錦田先生は現代中東のシリアやパレスチナ難民を対象とした質的研究がご専門ですが、様々な地域について幅広く取り組むことができます。

【ゼミの雰囲気】

今年度新たにスタートしたとてもフレッシュなゼミです。ゼミ員は皆個性的でとても楽しく、移民や難民について学びたい方はもちろん、一緒にゼミを作っていきたいという想いのあるあなたをお待ちしています！

【人数】

3年1期14名

3 2020年度入ゼミスケジュール

6月22日(土) 入ゼミ相談会

政治学科のゼミナールについての説明と資料の配布を行います。その後はゼミごとに個別相談の時間も設けております。

10月上旬(予定) 第1回入ゼミ説明会

6月に行われた相談会よりもさらに詳しい内容の説明と資料の配布を行います。6月と同様、ゼミごとの個別相談の時間も設けております。また、系列ごとの説明会も行います。

10月中旬～11月上旬の昼休み(予定) 個別相談会

2～3週間かけて、平日の昼休みに日吉キャンパスの教室で説明会を開催いたします。ゼミによって開催日時が異なるため、詳細は各ゼミのHP及びTwitterでご確認ください。各ゼミ合計2回、ゼミ員のみ説明会と教授も参加される説明会を1回ずつ行います。

11月ごろ～(予定) 第1次入ゼミ課題発表

各ゼミの入ゼミ課題の発表を、日吉キャンパスの法学部掲示板前か、政治学科掲示板に掲載いたします。また同内容のものを、政治学科ゼミナール委員会のHPでも発表いたします。各ゼミのHPやTwitterでも発表がある可能性があります。自分が志望するゼミについては、各自で課題の内容を把握しておいてください。

12月～1月(予定) 入ゼミ課題の作成と提出

各自で入ゼミ課題を作成し、提出してもらいます。提出方法は郵便や担当教授へのメール添付、各ゼミのゼミ員へのメール添付など、ゼミによって異なります。各自で提出方法を事前に確認してください。この時期はだんだん期末試験の対策にも追われるため、計画を立てて、余裕をもって準備してください。

2020年2月上旬(予定) 第1次統一選考&結果発表

昨年度は2月上旬に、三田キャンパスで統一選考が実施されました。今年度の日程は確定次第HPとTwitterに掲載いたします。各ゼミの指定する教室に行き、選考を受けてください。選考の内容は主に、教授・院生及びゼミ生との面接です。

合格者にも不合格者にも、必ず各ゼミからメールで結果発表の連絡があります。

2020年2月(予定) 第2次統一選考向け説明会

第2次統一選考が行われるゼミのみで説明会を行いません。該当する各ゼミの入ゼミ担当者に、課題提出や面接などについて直接質問することができます。

2020年3月上旬(予定) 第2次統一選考&結果発表。

第2次統一選考も三田キャンパスで行われます。各ゼミが指定する教室で選考を受けてください。

2020年3月中旬(予定) 第3次選考

第3次選考以降は政治学科ゼミナール委員会による統一選考ではなく、各ゼミが日時・場所・選考内容を発表します。各ゼミのHP及びTwitterを確認してください。

入ゼミに関する質問

入ゼミに関する質問は、以下に従いメールを送信してください。

- ①件名・内容を具体的に記入する。
- ②メールの本文末尾に、所属学部・学科・学年・組・学籍番号・氏名を明記する。
- ③seizemishare@gmail.com 宛に送信する。

また、随時情報は HP 及び Twitter に更新します。ご確認ください。

HP <http://keio-seizemi.wixsite.com/committee>

Twitter @seizemi_keio

以下のゼミは、来年度募集を行いません。

大石裕研究会 （政治・社会系列）

岡山裕研究会 （地域研究・比較政治系列）

小林良彰研究会 （政治・社会系列）

添谷芳秀研究会 （国際政治系列）

以下のゼミは、今回の入ゼミ相談会には参加しませんが、来年度の募集を行います。今後の HP および Twitter 上の情報をご確認ください。

笠原英彦研究会 （日本政治系列）

以上

法学部政治学科ゼミナール委員会

入ゼミ担当

文責 佐藤優人（統括）

全塾ゼミナール委員会委員長より

全塾ゼミナール委員会委員長

法学部法律学科 高田晴仁研究会

法学部法律学科 3年 高木哲平

皆さんが慶應義塾大学に晴れて入学し、早くも2度目の夏を迎えようとしています。学業だけでなく、部活やサークル、アルバイトやインターン、資格試験など皆さんそれぞれが思い思いの学生生活を謳歌していると思います。次年度には日吉から三田キャンパスへと移り、これまでとは異なる環境に身を置くこととなります。三田での学生生活では、ゼミの活動が学業だけにとどまらない重要なものとなるでしょう。一度きりの大学生活をより充実したものとするためには、主体的な行動により活力のある日々を過ごすことが必要ではないでしょうか。そうした日々の積み重ねによって、自らを心身ともに成長させていくことができるでしょう。そのために皆さんには、次年度からスタートするゼミ活動に全力で取り組んでいただき、悔いのない学生生活を送っていただければ幸いです。

そして、その中で大切になるのは、「どのゼミに所属するか」という選択です。興味のある研究内容や各ゼミの雰囲気など、様々な要素を幅広く考慮していただき、自分の知的好奇心を満たすことのできるゼミを選んでいただきたく思います。また各説明会への参加や、色々な人の意見や情報を参考にし、実際の授業を見学することなどの積極的な行動を通じて、後悔しないゼミ選択をしていただきたいと考えております。

よって皆さんのより良いゼミ選びのために、各学部のゼミナール委員会では、各学部の研究会情報を提供していきます。そして私たち全塾ゼミナール委員会では、皆さんの知的好奇心を満たすベストな環境を選択することができるように、学部の垣根を超えたゼミ選びを支えていきます。他学部への入ゼミについては不安に思うことがあるかもしれませんが、全塾ゼミナール委員会は不安や疑問点を少しでも解消できるよう全力でサポートしていきます。他学部入ゼミに興味をお持ちの方は、お気軽にお声掛けください。

我々全塾ゼミナール委員一同は、皆さんの希望に合ったゼミ選びにより学生生活が素晴らしいものとなるよう、誠心誠意お手伝いさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

全塾ゼミナール委員会

【委員会構成】

全塾ゼミナール委員会は慶應義塾大学の公認団体であり、200 余りのゼミから成る各学部のゼミナール委員会を統括し、研究会活動に関する学生自治を任されています。当委員会は、下記の6つのゼミナール委員会からそれぞれ選出された10名により運営されています。

経済学部・商学部・法学部法律学科・法学部政治学科(各2名)

文学部人文社会学科社会学専攻・文学部人文社会学科人間科学専攻(各1名)

【意義】

本会は、各委員会に所属する研究会生の学術的活動並びに友好的交流支援により他学部他学科間の相互理解・相互連携を通して慶應義塾大学のアカデミズムの興隆に寄与することを目的とする。

(全塾ゼミナール委員会規約第1章第1条より)

【主な活動内容】

他学部入ゼミ支援

6月中旬より、2年生に対して各学部で入ゼミ説明会が行われます。学生は基本的に所属する学部のゼミに入会しますが、一部他学部生の入ゼミを受け入れているゼミがあります。そこで、学部を超えてのゼミの情報収集の負担を軽減すべく、全塾ゼミナール委員会が情報提供をサポートします。

具体的には各学部の入ゼミ説明会でブースを出展、他学部入ゼミ説明会の開催、他学部入ゼミ冊子の作成、Twitter、Facebook ページ、ホームページを通じて支援致します。

業界講演会

塾生の皆さまが将来の進路を決定する際の一助となれるよう、多岐に渡る業界で活躍するOBOGの方々の講演を、企画・運営しております。毎年秋学期に開催しており、本年度も皆様からアンケートに基づき講演会の企画を進めております。

全塾ソフトボール大会

毎年、各学部でソフトボール大会が行われます。上位に残ったゼミが、学部を超えて対戦するのが全塾ソフトボール大会であり、この大会の企画運営を行います。本年度も6月中旬に実施予定です。

- ・全塾 HP: <http://www.zenjuku-seminar.com>
- ・Twitter: @zenjuku_keio(全塾ゼミナール委員会)
@zenjuku_nyuzemi(全塾ゼミナール委員会 他学部入ゼミ)
- ・Facebook: <https://www.facebook.com/zenjuku.nyuzemi/>
- ・問い合わせ: zenjuku.seminar.nyuzemi2019@gmail.com

他学部入ゼミについて

全塾ゼミナール委員会では、学部を超えて他学部のゼミで学びたいという意欲的な方を応援しています。下記に各学部の入ゼミの簡単な予定とFAQを載せておきますので、興味のある学部の説明会に足を運んでみてください。詳細は全塾HPに随時掲載致します。

	文学部 人間科学	文学部 社会学	経済学部	法学部 法律学科	法学部 政治学科	商学部	他学部 入ゼミ
第一回 説明会	7月1日	6月26日	6月15日	9月28日	6月22日	6月29日	7月6日
第二回 説明会	11月下旬	11月上旬	10月上旬	なし	10月上旬	10月中旬	11月上旬
第三回 説明会	なし	なし	1月中旬	未定	なし	1月中旬	三田祭
試験	1月下旬	12月初旬	未定 例年3月	未定 例年12月	2月初旬	3月中旬	—

* 上記は現段階で各学部ゼミナール委員会が発表しているものであり、今後日程が変わる場合があります。
詳しくは、各学部ゼミナール委員会のHP等で日程をご確認ください。

FAQ

Q.他学部のゼミに所属することはできるのでしょうか？

A. 入会したいゼミが他学部生を受け入れており、入会課題や面接などを受け、入会を認められた場合、他学部のゼミに所属することが出来ます。

他学部入ゼミは基礎学力の違い、単位上の問題などある程度リスクを伴うものです。しかし、全塾ゼミナール委員会は他学部のゼミを志望する学生に情報提供し、サポートを行っていきたいと思いますので、どんな些細なことでもお気軽にお尋ねください。

Q.全塾ゼミナール委員会ではすべての学部・学科のゼミに関して相談に乗ってもらえるのですか？

A. 当委員会は、慶應義塾大学の三田キャンパスに所属する6つのゼミナール委員会(経済学部、商学部、文学部人文社会学科社会学専攻、文学部人文社会学科人間科学専攻、法学部法律学科、法学部政治学科の各ゼミナール委員会)から2人ずつ(文学部は1人ずつ)選出され、計10人で組織されています。そのため、上記以外の学部・学科については情報を提供できません。湘南藤沢キャンパス(SFC)、理工学部、医学部はもちろんですが、文学部教育・心理・美術その他専攻もこれに当たります。これらのゼミに興味のある方は直接そのゼミに連絡をとって頂くこととなります。

Q.自分の所属している学部のゼミと他学部のゼミの両方に所属することは可能ですか？

A. 可能です。ただし、2つのゼミを受験され両方入会を許可された場合、片方を辞退する行為は極めて失礼に当たるため、必ず両方に所属し全うして頂くようお願い致します。ゼミの活動は、予想以上に内容の濃いものです。時間的拘束など複数のゼミに所属するメリット、デメリットの両方を熟考の上、後悔しないゼミ選びをして下さい。

第一回他学部入ゼミ説明会

7月6日(土) 13:00～16:00

日吉キャンパス J14

－他学部経験者による講演

履修単位・志望動機・ゼミ生活などの経験談

－各学部入ゼミ説明会について

既に終了した説明会内容が聞けるチャンス

－個別相談ブース

各学部ゼミナール委員会・有名ゼミの話が聞ける！

－他学部入ゼミ案内冊子の配布

参加者限定配布！


全塾

ゼミナール委員会

 <https://www.zenjuku-seminar.com/nyu-zemi>

 <https://www.facebook.com/zenjuku>

 @zenjuku_keio, @zenjuku_nyuzemi

 zenjuku.seminar.nyuzemi2019@gmail.com

